

VERITAS NetBackup™

革新的なデータプロテクション

エンタープライズクラスのバックアップとリカバリの最先端を行く VERITAS NetBackup™は、非常に複雑な UNIX、Windows、および Linux 環境におけるデータプロテクションに対応可能なように設計されています。直感的なグラフィカル ユーザー インターフェイスにより、企業はバックアップとリカバリのあらゆる側面を管理し、組織全体に一貫したバックアップ ポリシーを適用できます。VERITAS NetBackup では、Oracle、IBM DB2 UDB、Microsoft SQL Server、Microsoft Exchange Server、Microsoft SharePoint Portal Server、SAP R/3、Lotus Notes と Domino Server などに対し、データベースとアプリケーションを意識したバックアップとリカバリ ソリューションを提供しています。

VERITAS NetBackup が備えるディスクベースのデータ保護機能により、迅速な即時リカバリが実現し、バックアップ パフォーマンスの改善とネットワーク オーバーヘッドの削減が可能となります。高度なメディア管理機能により、企業はテープの複製からライブラリとドライブの共有まで、あらゆる側面のメディア管理を実行できます。さらに、NetBackup では、すべてのバックアップとリカバリ操作をリアルタイムで分析し、その履歴を提供します。

製品の特長

● 合成バックアップ

1 回のフルバックアップと任意の回数のインクリメンタルバックアップから、フルバックアップを合成します。合成バックアップでは、クライアントからのファイル転送が起こらないため、ネットワーク帯域幅の消費が少なくなります。クライアントからのデータ転送が 1 回で済むため、アプリケーション ホストへの影響も少なくて済みます。この新たなバックアップ手法によって、より頻繁にフルバックアップを行うことができ、リストア作業が簡略化されます。

● ディスク ステージング

NetBackup を使用すると、管理者はディスクにバックアップしたデータを改めてテープに移動しなくても、バックアップイメージをディスクからテープへ柔軟に移行できます。バックアップイメージがディスクに存在するため、従来のテープからのデータリカバリと比較すると、データのリストア時間が大幅に短縮されます。

● 限らないスケーラビリティ

NetBackup は集中管理と制御、ハイパフォーマンス テクノロジーおよび柔軟な多層アーキテクチャを提供し、最新データセンターの増大するニーズに対応しています。

● プラットフォームの独立

UNIX、Windows、Linux、の主要なコンピューティング プラットフォームを保護します。

● アクセス制御

NetBackup は、特定のタスクやシステムへのユーザーアクセスを制御します。アクセス制御によって、コア製品やオプションを含むすべての NetBackup で共通のアクセス権を設定します。

● ポリシーベースの集中管理

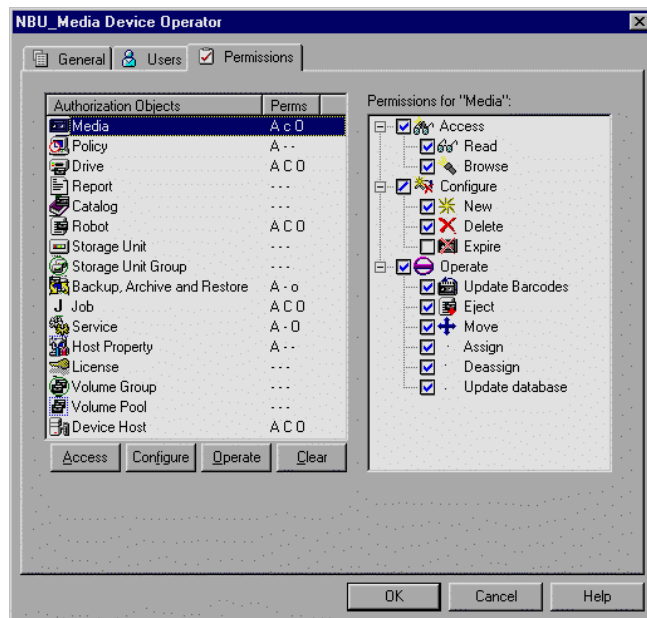
NetBackup のコンソールは、直感的なインターフェイスによる集中した管理を可能にするため、バックアップ管理者は多数のサーバーを一層効率的に管理できます。複数のサーバーにわたって何千人ものユーザーが実行する企業のバックアップ操作を自動化し、すべてのストレージデバイスの管理を統合します。

● 優れたパフォーマンス

最大 32 の異なるデータストリームを単一のテープドライブに多重化させ、ストレージ ハードウェアの最大スループットを達成します。必要に応じて複数のデータストリームを複数のテープデバイスに送信することで、パラレル化を実現します。

● 最新のストレージ ハードウェアの活用

NetBackup では、主要なベンダーのテープライブラリ、テープドライブおよびストレージエリア ネットワーク (SAN) の相互接続テクノロジーを広くサポートしています。SCSI または SAN を介して個々のテープドライブを動的に共有したり、オプションの NetBackup NDMP を利用して、主要なネットワーク接続ストレージ (NAS) デバイスを保護します。NetBackup では、ネットワーク データ管理プロトコル (NDMP) を使用して、NDMP をサポートする NAS デバイスのバックアップとリカバリ作業を制御します。



設定が容易な VERITAS NetBackup のアクセス制御は、使い易いポイントアンドクリックの GUI を介して展開されます。

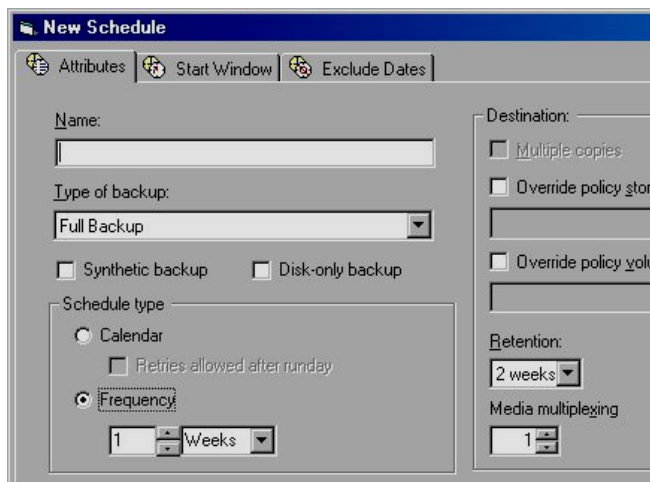
ディスクベースのデータプロテクションと合成バックアップによるテクノロジーの革新

VERITAS NetBackup の新しい Advanced Client は、高度なスナップショット手法を用いたディスクベースのバックアップを、単純なクライアントインターフェイスを介して、設定可能にします。こうした先進手法を導入することで、バックアップの高速化、リストアの高速化、あるいはバックアップによる影響の低減などユーザーの要件に基づいて、環境を簡単にカスタマイズできます。

Advanced Client によって実現するディスクベースのスナップショット機能は、以前は VERITAS NetBackup Array Integration Option、VERITAS NetBackup for Oracle Advanced BLI Agent および VERITAS NetBackup ServerFree Agent などの NetBackup エージェント/オプションで別々に提供されていました。Advanced Client は、Oracle、Microsoft Exchange Server、Microsoft SQL Server およびファイルシステムのバックアップとリカバリも統合することができます。

VERITAS NetBackup は、ディスクベースのバックアップ機能を拡張しています。ディスク ステージングによって、NetBackup ユーザーはバックアップとリカバリ戦略を一層柔軟に策定できるようになります。ディスク ステージングでは、テープデバイスの待ち時間が発生せず、ステージングによって生成された非マルチプレキシング バックアップイメージをリカバリに使用できるため、バックアップとリカバリ双方の高速化が図られます。

VERITAS NetBackup が新たに提供する合成バックアップ機能は、ディスクベースバックアップ手法と組み合わせることで、バックアップとリカバリの操作を大幅に強化します。NetBackup ユーザーはインクリメンタルバックアップをディスクに格納し、次にそれをフルバックアップに合成してデータをテープに格納することで、テープ総量を削減すると共に、リカバリのプロセスを簡略化できます。これにより、新規ファイルや変更されたファイルがサーバーに転送されるのは 1 度だけになり、アプリケーションホストに与えるバックアップの影響を軽減できます。合成バックアップは、ネットワーク上を移動するデータの量を削減し、バックアップとリカバリに必要なネットワーク帯域幅を最小化します。合成バックアップでは、クライアントシステムがオンラインである必要はありません。その理由は、すでにディスクまたはテープに格納されたバックアップイメージを使用して、新しいフルバックアップイメージや累積型増分バックアップイメージを合成するためです。



NetBackup の合成バックアップ機能は、NetBackup ポリシーの属性セクション内で簡単に設定できます。

Desktop and Laptop Option

VERITAS NetBackup Desktop and Laptop Option により、デスクトップとラップトップに保存されたデータに対するディスクベースの連続的なデータプロテクションが可能になります。VERITAS NetBackup Desktop and Laptop Option は、企業向けのデータプロテクションをユーザーレベルにまで範囲を広げ、必要に応じてディスクから迅速にファイルをリカバリする機能をエンドユーザーに提供します。社内のミッションクリティカルなデータが潜在するデスクトップ/ラップトップは、これで簡単に保護されるようになります。データを複数のシステム間で同期を取る機能は、ユーザーの生産性を飛躍的に向上させます。

スケーラブルなアーキテクチャ

オープンシステム環境でバックアップとリカバリを実行する製品は数多く存在します。ところが、最新のデータセンターでの利用を前提に設計されている製品はほとんどありません。ビジネスクリティカルなアプリケーションを実行するために、最新のデータセンターが、従来のメインフレームの単独ドメインに代わり、大型 UNIX や Windows サーバーとクラスタによって構成されています。VERITAS NetBackup では、高度なメディア管理と高いパフォーマンスにより、最大規模のデータセンターの要件に対応する 3 層アーキテクチャを採用しています。

- NetBackup マスターサーバーが第 1 の層です。マスターサーバーは、クライアントのバックアップのスケジューリングやトラッキングからテープメディアとファイル カatalogの管理に至るまで、あらゆるデータプロテクション作業の「頭脳」として機能します。マスターサーバーでは、複数のクライアントのデータをバックアップするために、2 つ以上のストレージデバイスを接続したり、クラスタリングしてアベイラビリティを高めます。
- 数か所にデータを保管していたり、データウェアハウスなどデータ集約アプリケーションを持つ企業は、メディアサーバーを 2 番目の層に実装すると、ネットワーク上で他のクライアントシステムをバックアップしている間に、大きなアプリケーションをローカルにバックアップすることができます。メディアサーバーでは、テープライブラリをマスターサーバーや別のメディアサーバーと共有したり、また、独自のテープデバイスとしても機能します。メディアサーバーが使用できない場合、接続されたクライアントのバックアップは、別のメディアサーバーにルート設定することができます。
- 3 番目の層は、サーバーやワークステーションをバックアップするクライアントエージェントです。通常、この層は最多数の個別マシンを表しますが、必ずしも大半のデータを表しているわけではありません。マスターサーバーでは、メディアサーバーとクライアントの両方を集中管理することができます。

フレキシブルな実装

NetBackup ポリシーの実装や設定は比較的簡単です。直感的なウィザードを使用することにより、さらに単純化されます。管理者は、グラフィカル インターフェイスから、頻度ベース、カレンダーベースまたはその両方の自動バックアップを定義できます。バックアップは、毎日、毎週、毎月または毎時ベースで起動させたり、特定の日にだけ起動させる設定もあります。バックアップを特定の時間に実行させないために、バックアップウィンドウを指定することもできます。さらに、管理者は、トラッキングやレポートしやすいように、バックアップ ポリシーにわかりやすい名前を付けることができます。

企業に対応した SAN サポート

VERITAS NetBackup Shared Storage Option は、ストレージネットワーク内のデバイス共有を定義しています。今日市場に提供されている製品の中でも最高のダイナミック ドライブ シェアリング ソリューションを提供しています。Shared Storage Optionを使用することにより、個々のテープドライブを、複数の VERITAS NetBackup サーバー間でバックアップとリストア用に必要に応じて共有することができます。テープドライブは、スイッチ、ハブ、マルチプレクサなどの使用可能なハードウェアを介して、接続されます。Shared Storage Optionにより、個々のドライブを特定のサーバーに結合する必要がないため、ドライブ シェアリングとハードウェアリソースを効率的に使用して、企業は周辺機器への投資をより効率化できます。

機能	利点
パフォーマンス	
NEW! 合成バックアップ	合成バックアップにより、フルバックアップイメージからの迅速なクライアント リストアが可能となります。合成バックアップではネットワーク帯域幅の消費が少ないため、アプリケーションホストへの影響が軽減されます。
NEW! VERITAS NetBackup™ Advanced Client	フローズンイメージを使った先進的なバックアップ方法を提供する技術を容易に設定可能にします。Advanced Clientを使用すると、ユーザーは自社環境におけるリカバリ時間とバックアップ速度の要件を基に、設定を最適化することができます。
ENHANCED! ディスク ステージング	ディスク ステージングでは、テープデバイスの待ち時間が発生しないため、バックアップとリストアの高速化が容易になる他、非マルチプレキシング イメージをリストアに使用できるため、リカバリが高速化されます。
マルチプレキシング	最適のパフォーマンスを得るために、1 つ以上のクライアント/サーバーから単一のテープドライブに複数のデータ ストリームを書き込む機能。
ENHANCED! チェックポイント再始動	失敗したバックアップまたはリカバリのジョブを、最後のチェックポイントから再開できます。したがって、バックアップまたはリカバリのいずれかのジョブが失敗した場合でも、失敗の原因を修正した後、ジョブを最初からではなく最後のチェックポイントから再開できます。バックアップとリカバリのジョブは、必要に応じて停止や再開が可能です。
強力なセキュリティとレポート/分析機能	
ENHANCED! 暗号化	128 ビット、256 ビット暗号化をサポート
ENHANCED! ¹ Integrated Troubleshooting Guide ²	エラーの説明と推奨アクションを NetBackup インターフェイスに統合し、トラブルシューティングを簡素化します。
テープボリューム、ドライブおよびライブラリの表示	テープの利用、ドライブの設定などに関するレポート。
ENHANCED! エラーメッセージの識別と分類	トランザクションログの解析をせずに、簡単に問題を診断します。
履歴レポートの検索	以前のバックアップとリストア アクティビティを詳細に分析します。
拡張ディザスタリカバリ	
ENHANCED! Inline Copy	この機能によって、複数のバックアップイメージを同時に作成できます。各イメージは一意的な保存属性を持ち、プライマリ バックアップと同時に、またはプライマリ バックアップ完了後に実行されます。ディスクからディスクやディスクからテープに利用可能です。
汎用的なテープ フォーマット	標準のUNIX コーティリティを利用して NetBackup が利用できない環境でもリストアできるよう、TAR 互換テープを作成する機能
ENHANCED! VERITAS NetBackup™ Vault	オフサイトに移される複製の作成から、テープの再使用などを判断するオフサイトメディア保存期間の追跡まで、オフサイトテープを完全に自動管理するためのオプションの統合モジュール。
代替リストア方法	データを代替場所にリストアするための体系的なメニュー方式手順、またはディザスタ リカバリとリカバリ シミュレーションを簡素化するシステム。
メインフレームに匹敵するメディア管理	
ロボティック/テープドライブの自動設定	テープデバイスの設定に要する時間を大幅に縮小します。
マルチホスト ライブラリ共有	高価なテープリソースを最大限に活用するために、UNIX、Windows、Linux またはネットワーク接続ストレージ (NAS) などヘテロジニアスなシステム間で自動テープライブラリを共有できます。
ENHANCED! 幅広いテープデバイス サポート	ADIC、Compaq、Dell、Exabyte、HP、IBM、Overland Data、Qualstar、Quantum、Sony、Spectra Logic、StorageTek および Sun など主要なテープデバイス プロバイダをサポートすることにより、企業は最高のテクノロジーを選択できます。
メディアとライブラリの高度な機能	バーコードリーダーのサポートや スピルオーバー メディア ボリューム (スクラッチプール) の設定など、高度な機能を活用できます。
ダイナミック テープドライブ シェアリング	Shared Storage Option により、NetBackup はヘテロジニアスなシステム間のテープドライブリソースを仮想化し、バックアップとリカバリ用のテープドライブの利用効率を強化します。

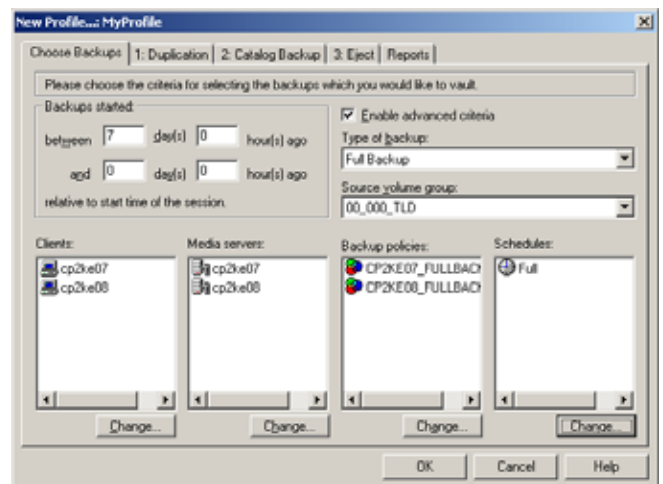
機能	利点
フレキシブルな実装	
ENHANCED! アクセス制御	NetBackupは、特定のタスクやシステムへのユーザー アクセスを制御します。アクセス制御によって、コア製品やアドオン オプションを含むすべてのNetBackupで共通のアクセス権を設定します。
NetBackup の管理および設定ウィザード	テープデバイス、メディア、ストレージユニット、バックアップポリシーおよびカタログ バックアップを迅速かつ簡単に設定し、Oracle の場合は、バックアップとリカバリのスクリプトを自動作成します。
高度なスケジューリング	毎月特定の日に自動バックアップを設定する機能を、頻度ベースの標準スケジューリング手法と組み合わせることができます。
リモート管理	ダイヤルアップ ネットワーク上を含む任意の場所からフルバックアップとリストアを実行する機能です。
ネットワーク帯域幅の縮小	NetBackup のネットワーク利用を制御する機能により、バックアップが実稼働時間に継続される場合、社内ネットワーク上の負荷を調整できます。
ジョブの優先順位	重要度に基づきバックアップジョブの優先度を設定する機能です。
ヘテロジニアス サポート	
NEW! VERITAS NetBackup™ Desktop and Laptop Option	企業レベルのデータプロテクションをユーザー レベルにまで拡張する新しいオプションです。複数の場所にある複数のデスクトップ/ラップトップの同期化も可能です。
ENHANCED! 幅広いプラットフォーム サポート	1A64を含む、Microsoft Windows、Linuxと主要なUNIXプラットフォームをサポート。企業は現在のインフラを活用するか、または最高のテクノロジーを選択して自社のデータプロテクション要件に対応することができます。
ENHANCED! データベースとアプリケーションを意識したバックアップとリカバリ	Oracle、Microsoft SQL Server、Microsoft Exchange Server、Microsoft SharePoint Portal Server、DB2、SAP R/3、Lotus Notes と Domino Server など主要なデータベースとアプリケーションをサポートします。
主要なネットワーキングトポロジのサポート	バックアップとリカバリのために、ストレージ エリア ネットワーク (SAN)、ネットワーク接続ストレージ (NAS)、ギガビットイーサネット (GbE)、その他を活用します。
フローズイメージの高度なサポート	NetBackup を VERITAS NetBackup Advanced Client と組み合わせて使用することで、HP Business Copy、Hitachi Shadow Image、EMC TimeFinderなどを活用してダウンタイムがゼロのバックアップを実現します。
NEW! Network Appliance スナップショットのサポート	NetApp 社のスナップショットを使った Instant Recovery が利用可能になりました。これにより NAS 装置の高速リカバリが可能になります。

ディザスタ リカバリ

NetBackup は、通常のバックアップ/リカバリ機能に加えて、オフサイトにあるアプリケーションやサーバー全体のリカバリを容易にするために使用できます。VERITAS NetBackup の Inline Copy 機能を使用すると、オリジナル バックアップが作成されると同時に、プライマリ バックアップの複数のコピーを異なるテープ上に自動的に作成できます。これらのセカンダリテープは、保管のためにオフサイトに移動することができます。また、必要に応じてユーザーのサイトに戻し、リカバリ操作を実行することができます。

完全に自動化されたディザスタ リカバリを実現するために、NetBackup には、オフサイトポルト用の複製テープの管理や作成を簡素化するための完全なポルト管理オプションである VERITAS NetBackup Vault があります。

Vault は、複製テープのロボティック Cartridge Access Port (CAP)または Media Access Port (MAP)への放出、pick/pull レポートの作成、およびオフサイトメディアの保存期間の監視を管理します。NetBackup Vault は、プライマリ バックアップと同時に作成された複製メディア、または非稼働時間中などの予定時刻に作成された複製メディアの管理を容易にします。



VERITAS NetBackup Vault は、テープローテーションの簡素化とローカル サイトの損害から組織を保護するために設計された、高度なレポートと自動化機能を提供します。

ベリタスソフトウェアの詳細な製品情報につきましては、弊社の Web サイト (www.veritas.com/jp) をご覧ください。

© Copyright 2004 VERITAS Software Corporation. All rights reserved. VERITAS, VERITAS SOFTWARE, VERITAS ロゴ, ベリタス製品は、米国および各国の VERITAS Software Corporation の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。製品の仕様、性能等は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

ベリタスソフトウェア株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 富国生命ビル

☎0120-402-665 (受付時間 平日 9:30 - 12:00, 13:00 - 18:00)

FAX.03-5532-0887

www.veritas.com/jp

お問い合わせ先